



射水市立小杉小学校 学校だより

杉っ子

第7号

令和4年10月13日

「幸せを感じる心」「楽しみを作り出す力」

9月30日 杉っ子ウォーク

「ただいまー」、元気な挨拶が玄関に響き渡っています。杉っ子ウォークから戻った子供たちは、どの子も満面の笑みです。

さわやかな秋空の下、学校教育サポーターの方にもご協力いただき、全校児童が縦割り班に分かれ、歌の森運動公園に行ってきました。1年生もリーダーについて無事、歩き通すことができました。

公園に着くと、都合で遊具を使うことができなかつたのですが、子供たちは急な予定変更にもこだわることなく、広いグラウンドで鬼ごっこをしたり草むらで虫を追いかけたり、班ごとに楽しく遊びました。

「いい香りのする木があったよ。キンモクセイって言うんだって」「大きい声で挨拶したらほめられたよ」と、教えてくれる子もいます。遊具が使えず困ったなという大人の心配はよそに、子供たちは自分たちの力で楽しみを作り出していました。

「日々是好日」という言葉があります。「日々努力を惜しまない人は毎日が良い日になる」と言います。前向きで明るい子供たちの姿から学ぶことができた一日でした。



健康な体づくり

本校は、令和4・5年度の学校保健研究推進事業の指定校として、心身ともに健康な生活を実践しようとする子供の育成を目指し、教育活動を進めています。

学校保健委員会では、保健委員会の子供たちが生活リズムを整える大切さを劇にして発表しました。その後、3～6年生は学校医の高島先生から睡眠の大切さについてお話を聞きました。（詳細は今月の保健だよりをご覧ください。）教育活動全体を通して子供たちが命の大切さを感じ、健康問題を自分事としてとらえられるようにしていきたいと考えています。

ご協力をお願いすることもあるかと思いますが、よろしくをお願いします。



高島先生のお話から分かったことをお伝えしたり、質問をしたりしました。

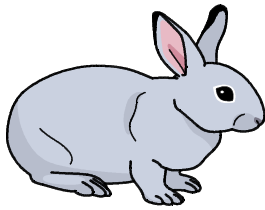


2年生は、よい姿勢がなぜ大切か学習しました。



6年生は、保健の授業で喫煙やアルコール摂取について学習しました。

うさぎのグレーが教えてくれました 限りあるいのち・二つとないいのち



本校で生まれ、10 数年生きたうさぎのグレーが 9 月 15 日に、旅立ちました。5 時間目の授業中でしたが、全校放送で知らせ、お別れを言いたい子供たちが担任と共に集まりました。

半開きのグレーの目を見て、「まだまだ生きたかったんだね」「そうじの時間はまだ生きていたのに」と子供たちはグレーに思いを寄せていました。「また生き返るかな」「残念だけど、生き返らないんだよ。だから命は大切にしなくちゃいけないんだよ」という子供と担任との会話もありました。お世話をしていた飼育栽培委員会の子供たちに見送られ、学校敷地の一角につくったお墓にグレーは眠りました。

100 枚近くのメッセージが寄せられ、グレーと触れ合う中で子供たちが癒され、たくさんのことを学んでいたことが伺えました。

- グレーは、この学校で一番の長生きだったね。天国でも楽しいことをしてね。
- 10年間ありがとうございました。そのおかげで命の大切さを知ることができました。
- 今までありがとう。かわいかったよ。グレーといっしょにいるのが楽しかったよ。元気でね。グレー、またね。
- 天国でクロ(母さん)と会えたらいいね。私もがんばるね。
- 3年間と半年、ありがとう。里親のお世話楽しかったよ。悲しいけど、天国から見ているね。本当にありがとう。

地域の方とともに

〈ひかりの森ふるさとギャラリー〉

3階マルチスペースでは芳采会の方々の作品を鑑賞することができます。作品の一部を定期的に入れ替えていただき、いろいろな芸術作品に触れさせていただいています。今年も暑期中、貴重な作品を搬入し、展示していただきました。ありがとうございます。



〈稲刈り〉

いみず野農協、ひばりファームの方々のご支援、ご指導の下、稲刈り体験をさせていただきました。「切れない!」と最初は鎌の使い方に四苦八苦してた子供たちでしたが、稲刈りが終わる頃には鎌の使い方にも慣れ、楽しく活動をしました。その後、「一粒も無駄にしないぞ」と落ち穂を拾い集めたり、総合的な学習や社会科の学習をもとに、稲作について質問をしたりしました。日本の農業を維持・発展させるための努力や工夫を知ることができました。



〈旧北陸道アート in 小杉〉

歴史的な町並みをギャラリーに見立て芸術作品を楽しんでもらおうと、射水市の「小杉まちづくり協議会」などが毎年行っている「旧北陸道アート in 小杉」。3年生が旧北陸道でよさこいソーランを元気に踊り、催しを盛り上げました。

